

河西便り



第5月号 2024年5月

【学校教育目標】 「自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成」

【中学校生活を楽しく送るための5つの視点・・・ご家庭編】

(1) 家庭を安らぎの場所に

中学校では教科担任制や部活動など新しいことがいっぱいです。勉強も難しくなり、高校受験（受験）や進路決定を控えて、学習面の不安やストレスも大きくなります。新しい環境への緊張感や気遣いなどで、子どもたちは想像以上に疲れています。家庭ではっと一息ついてゆっくり安らぐことが、明日へのエネルギーの源になります。

(2) 人間関係の基盤づくりを

自立するためには、友人との結び付きを深め、互いに悩みを話したり支え合ったりできる関係が大切になります。家庭での何気ない日常会話や、いっしょに何かを楽しむことなど、家族と心を通わせるかかわりを通して、人に対する信頼感や人との交流の仕方を学ぶことが、友人関係づくりの基盤となります。

(3) 自立を促すかかわりを

自立した大人になるということは、「自分で選択し」「自分で決定し」「自分で行動したことに対する責任をとる」ことができるようになります。そのためには、親が口や手を出しすぎず、自分なりのペースで行動するまで待ち、少しずつお子さんに任せていくことが大切です。

(4) ルールを守る心を育てるかかわりを

学校でも家庭でも、「してはいけないこと、許されないこと、しなくてはならないこと」があります。お子さんのやりたい気持ちや、やりたくない気持ちを分かってあげた上で、なぜ「してはいけないのか、許されないのか、しなくてはならないのか」をしっかりと話し合い、ルールを守る心を育てることが大切です。すぐにうまくいかなくても、少しでもできていることや、やろうとする気持ちを認め、根気強く話し合っていくことが大切です。

(5) 溫かく見守るかかわりを

第二次性徴が現れ、性差がよりはっきりし、体格の差も広がります。また、強い性衝動に戸惑ったり、劣等感を抱いたりしがちです。体は大人び、反抗的なことを言っていても「親から愛されたい」「認められたい」「分かってほしい」と思っているのも、この時期の特徴です。

※以前、研修会に参加させていただいた時に茨城県教委の事例がありその抜粋です。
思春期を迎える多感な中学生をもつ保護者の皆様へのお話を一部です。

○部活紹介

文化部と運動部の部活動の代表が、各部の紹介を行ってくれました。本校では、約78%の生徒が学校の部活動に所属しています。



○朝のあいさつ運動 5月

毎月第1週目に、生徒会、PTA（教育環境部）、地域安全推進員の方々、教職員が正門にて朝のあいさつ運動を行っています。



○情報モラル・薬物乱用防止教室

5月9日（木）6限、全校生徒を対象に、ゲストティチャーとして和歌山市立少年センター草田補導主事をお招きし、情報モラル・薬物乱用防止教室を実施しました。SNS等の取り扱いや、薬物の危険性等をわかりやすく話していただきました。

